

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 14日		事業所名 放課後等デイサービスゆにこ瀬田				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		1Fと2Fの空間分けをして落ち着いて過ごせるようにしています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		職員の加配、専門職員の配置をしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	車いす用ポータブルスロープを購入、傾斜の緩やかな経路の確保といった配慮を行なっています。	階段昇降機の設置を試みましたが、建物の構造上難しい状況です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		それぞれの職員が毎年目標を設定して業務改善に努めています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年アンケート調査を実施した後、全職員で振り返りを行なっています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年ホームページにて、公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		外部機関からご助言いただいています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎年全職員が様々な研修に参加しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもと保護者それぞれに個別面談を行なって計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントツールを使用しながら子どもの様子を丁寧にヒアリングしています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		こまめにニーズの見直しを行なって再立案をしています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		様々なニーズにお応えできるように努めています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		子の目指す到達目標を話し合いながら支援しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		ご家族や関係機関と情報共有し、子の思いを伺って作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		子や職員の顔写真や送迎時刻表等の視覚ツールを用いながら確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		振り返りでは全職員が発言、休んだ職員のために日報を作成しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		一人一人の個別支援計画を閲覧しながら記録しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		通所開始直後や大きな環境変化は注視して取り組んでいます。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		自立支援、創作活動、地域交流、余暇提供のバランスを見て活動が偏りすぎないようにしています。	

関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議は児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		小中学校連絡網tetorulに加入させて頂き、より円滑な情報共有ができるようにしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在医療的ケア児の利用はありませんが、法人所属の看護師と連携しています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	以前利用されていた福祉サービスと情報共有しています。	適宜、就学前の関係機関と連携します。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		ご家族や担当相談員と連携して次のサービスに引き継ぎをしています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関の方にご来所頂くことがあります。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		今年度、近隣の児童館と一緒に遊ぶ機会を設け、連携し始めています。	今年度よりも児童クラブや児童館との交流頻度を高めます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		毎回参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		発達検査や学校行事等で動きがある時に情報共有をお願いしています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		可能な限りお伝えできるように丁寧な面談を行っています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		毎月行事予定表や請求書を紙で配布しながら説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		適宜家庭訪問や電話相談をして一緒に解決方法を考えるようにしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	随時父母の方のニーズをヒアリングしています。	法人内で開催方法を検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		外部機関からの助言をいただきながら対応しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に1度ある行事予定表や一斉メール配信システムを導入しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		適宜開示前にご家族に承諾を得るようにしています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		電話や連絡帳やショートメッセージと様々な伝達方法を整えています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		季節行事を計画して地域の方々と交流できる場を設けています。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	様々なマニュアルをホームページで掲載することになっています。	一部のマニュアルが周知できていない状況でしたので、漏れのないようにチェック表を作成して周知に努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		様々な訓練実施後、フィードバックを行なっています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		全職員が複数の研修を受け、メンタルヘルスチェックも行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		虐待防止身体拘束適正化委員会を開催し、法人全体の課題として取り組んでいます。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーが強く反応しない場合でも適宜保護者に確認をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		定期的に事例検討会を開催して再発防止に努めています。	